

重要: このクイックリファレンスガイド (QRG) では、内視鏡を正しくリプロセスするために必要な手順の概要を説明します。

詳しい手順は取扱説明書 (洗浄 / 消毒 / 減菌編) を参照してください。

ご使用の気密テスターのロット番号に応じて適切な手順を行ってください。



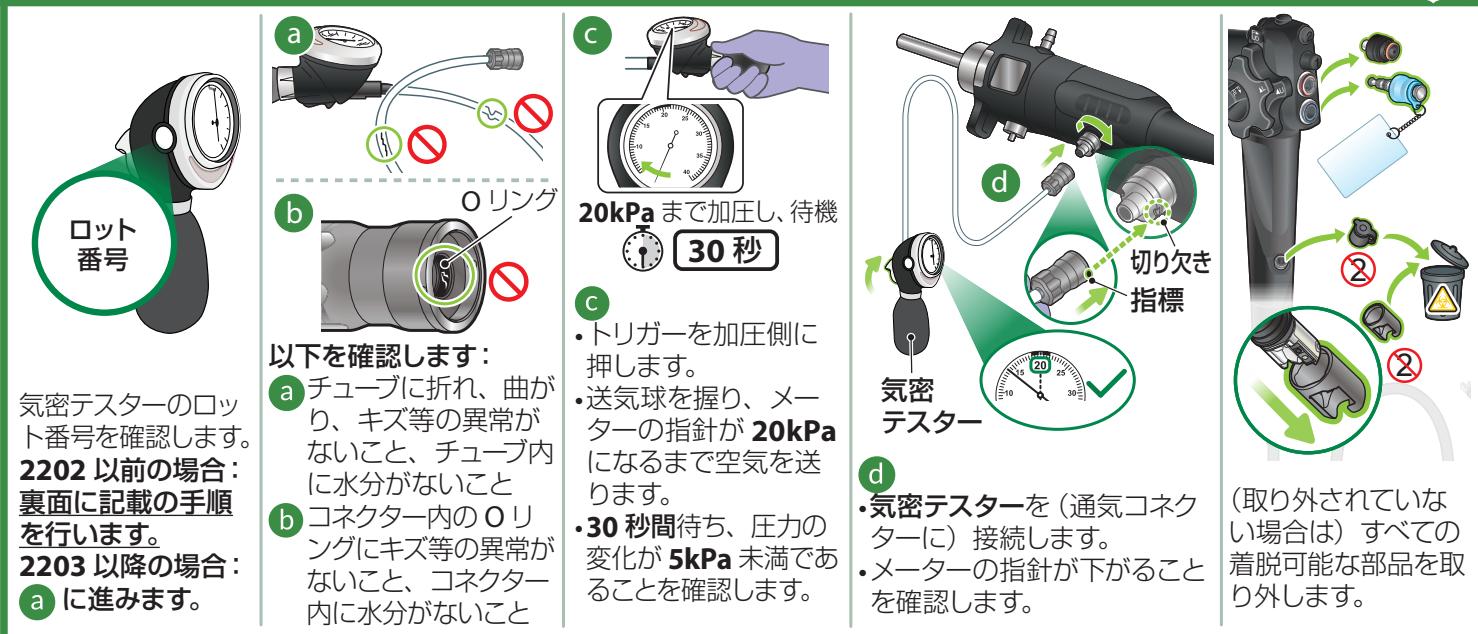
警告: リプロセスを行う場合は、適切な保護具を着用してください。保護具の着用が不適切な場合、感染の原因となるおそれがあります。



気密不良状態が発見された内視鏡を気密不良状態のまま水や薬液に浸漬しないでください。内視鏡が故障するおそれがあります。

A. 気密テスターの点検・取り付けを行う

5.4.3

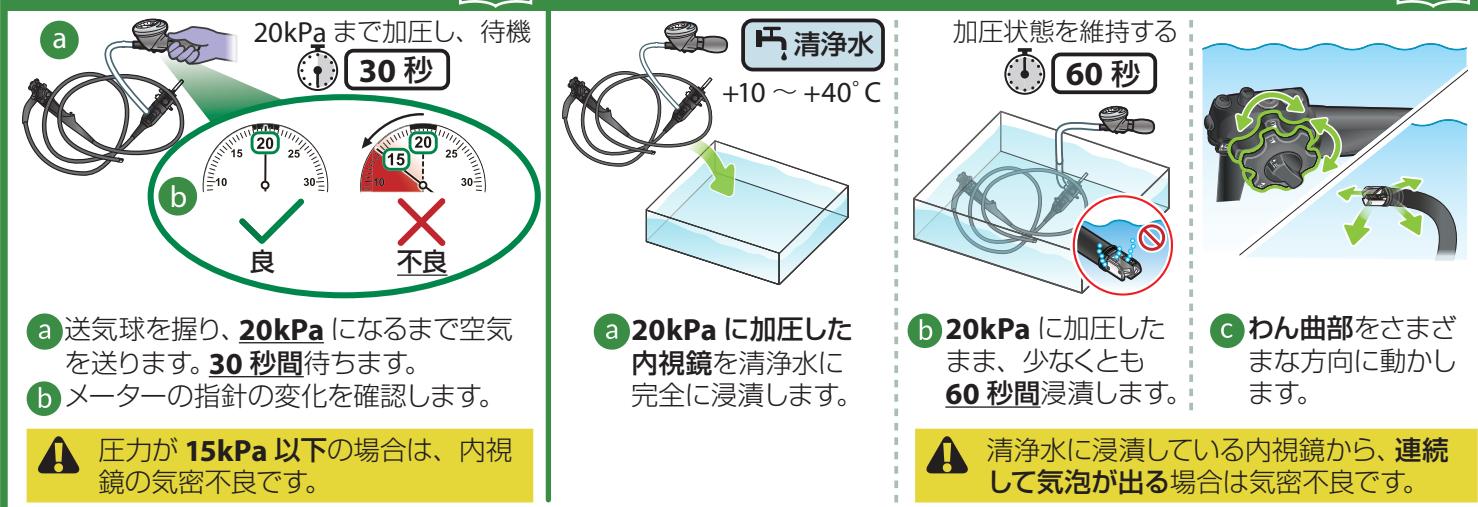


気密テスターのロット番号を確認します。

2202 以前の場合:
裏面に記載の手順を行います。

2203 以降の場合:
a に進みます。

B. 空気中で気密テストを行う

5.4.4
(5)-(7)

a 送気球を握り、**20kPa** になるまで空気を送ります。**30秒**間待ちます。

b メーターの指針の変化を確認します。

⚠️ 圧力が **15kPa** 以下の場合は、内視鏡の気密不良です。

D. 内視鏡を取り出す

5.4.4
(10)

気密テスターを取り付けたまま内視鏡を取り出し、平らな場所に置きます。

E. 気密テスターを取り外す

5.4.4
(11), (12)

参照:
第5章
▶5.4.3 および 5.4.4



重要: このクイックリファレンスガイド (QRG) では、内視鏡を正しくリプロセスするために必要な手順の概要を説明します。

詳しい手順は取扱説明書 (洗浄 / 消毒 / 減菌編) を参照してください。

ご使用の気密テスターのロット番号に応じて適切な手順を行ってください。



参照:
第5章

▶5.4.3 および 5.4.4



警告: リプロセスを行う場合は、適切な保護具を着用してください。保護具の着用が不適切な場合、感染の原因となるおそれがあります。



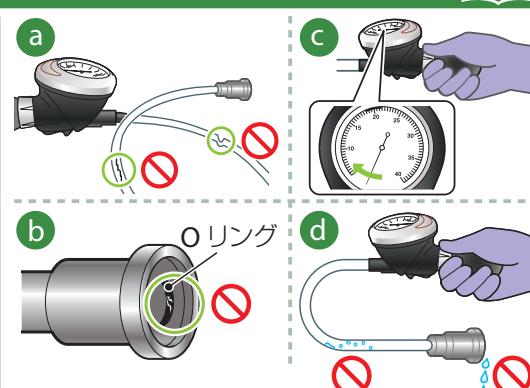
気密不良状態が発見された内視鏡を気密不良状態のまま水や薬液に浸漬しないでください。内視鏡が故障するおそれがあります。

A. 気密テスターの点検を行う

5.4.3



ロット
番号



気密テスターのロット番号を確認します。

2202 以前の場合:

a に進みます。

2203 以降の場合:

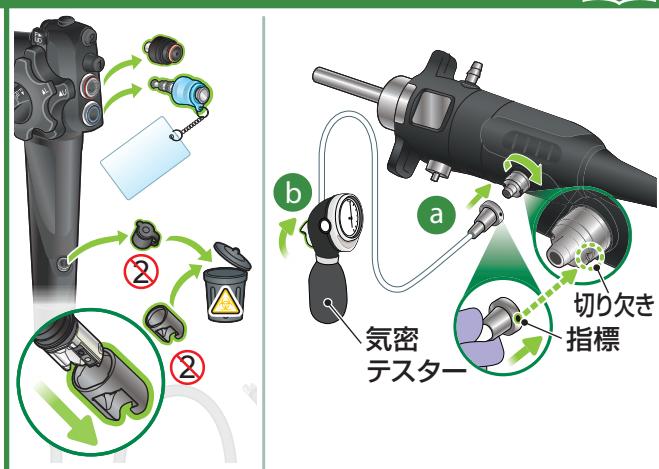
裏面に記載の手順を行います。

以下を確認します:

- a チューブに折れ、曲がり、キズ等の異常がないこと
- b コネクター内の O リングにキズ等の異常がないこと、コネクター内に水分がないこと
- c トリガーを加圧側に押して送気球を握ると、コネクターから空気が出ること、メーターの指針が上がること
- d チューブ内に水分がないこと、チューブから水分が流れ出ないこと

B. 気密テスターを取り付ける

5.4.4
(1)~(4)



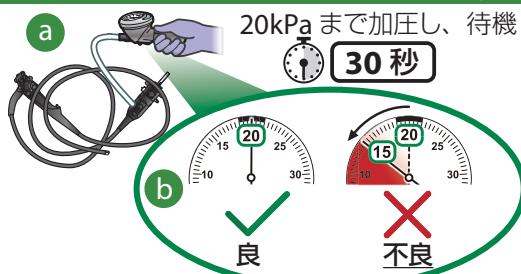
- a 気密テスターを (通気コネクターに) 接続します。
- b トリガーを加圧側に押します。

C. 空気中で気密テストを行う

5.4.4
(5)~(7)

D. 水中で気密テストを行う

5.4.4
(8), (9)



- a 送気球を握り、**20kPa** になるまで空気を送ります。**30秒**間待ちます。
- b メーターの指針の変化を確認します。

⚠ 壓力が **15kPa** 以下の場合は、内視鏡の気密不良です。



- a **20kPa** に加圧した内視鏡を清浄水に完全に浸漬します。



- b **20kPa** に加圧したまま、少なくとも**60秒**間浸漬します。

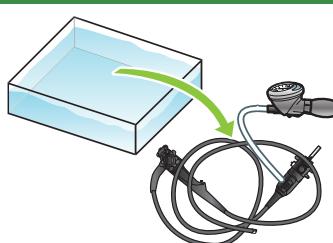


- c わん曲部をさまざまな方向に動かします。

⚠ 清浄水に浸漬している内視鏡から、連続して気泡が出る場合は気密不良です。

E. 内視鏡を取り出す

5.4.4
(10)



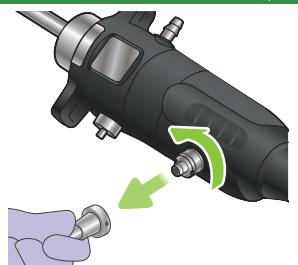
気密テスターを取り付けたまま内視鏡を取り出し、平らな場所に置きます。

F. 気密テスターを取り外す

5.4.4
(11), (12)



トリガーを解放側に押して空気を排出します。



気密テスターを取り外します。